

みずほCustomer Desk Report 2019/05/07号(As of 2019/04/29)

【昨日の市況概要】

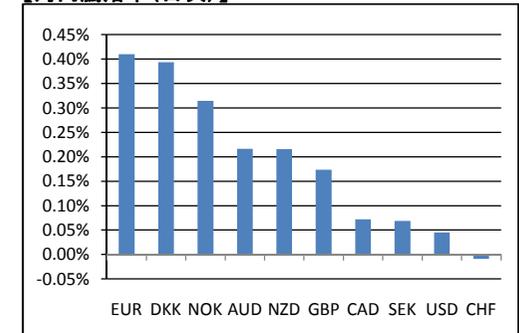
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	111.61	1.1149	124.50	1.2918	0.7043
SYD-NY High	111.90	1.1187	125.08	1.2946	0.7061
SYD-NY Low	111.51	1.1144	124.40	1.2906	0.7038
NY 5:00 PM	111.64	1.1185	124.93	1.2932	0.7057
NY DOW	26,554.39	11.06	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,161.85	15.45	日本10年債	-	-
S&P	2,943.03	3.15	米国2年債	2.2932	0.91bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.3108	2.17bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.5252	2.61bp
シカゴ日経先物	22,405	60	独10年債	0.0025	2.50bp
ロンドンFT	7,440.66	12.47	英10年債	1.1560	1.50bp
DAX	12,328.02	12.84	豪10年債	1.7895	0.40bp
ハンセン指数	29,892.81	287.80	USDJPY 1M Vol	5.30	0.16%
上海総合	3,062,499	▲23.90	USDJPY 3M Vol	5.83	0.11%
NY金	1,281.50	▲7.30	USDJPY 6M Vol	6.31	0.11%
WTI	63.50	0.20	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	184.18	▲0.48	EURJPY 3M Vol	6.72	▲0.05%
ドルインデックス	97.86	▲0.15	EURJPY 6M Vol	7.09	▲0.09%

市場営業部 為替営業第二チーム

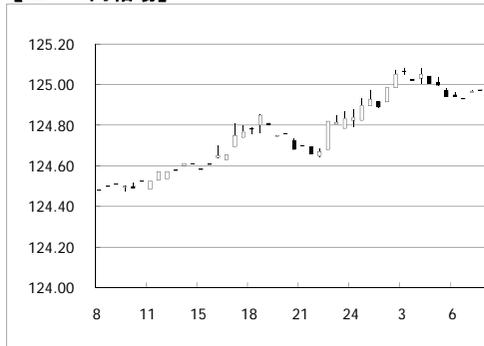
【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



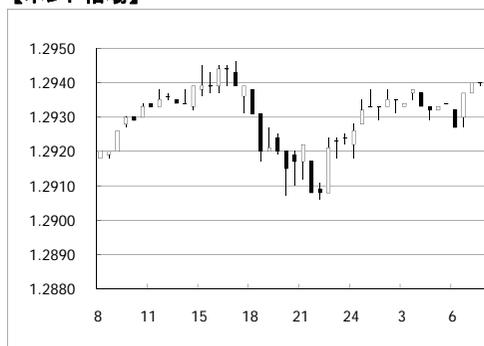
【ユーロ円相場】



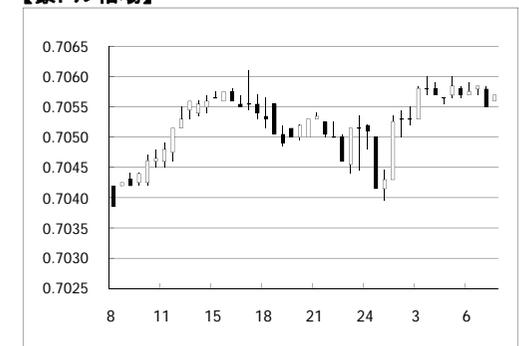
【ユーロドル相場】



【債券相場】



【豪ドル相場】



アジア	週明けのナイト時間は111.53レベルでオープン。26日に発表された米1-3月期GDP(速報値)が堅調な結果となったことなどを背景に、やや円売り優勢の展開。その後アジア時間に入ると、大型連休で本邦勢が不在となる中、111.60を挟んで揉みあい推移に終始した。結局、111.64レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.64レベルでオープン。特段目新しい材料がない中、111.63~111.77の小幅なレンジで推移。111.74レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2934レベルでオープン。今週の議会予定に離脱協定法案の審議が含まれていないことや、過半数に地方選を控える中、ポンド固有の方向感に乏しい展開。ドル買いがやや優勢となる中、1.2917まで下落し、1.2920レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	日本の大型連休で取引参加者が少ない中、海外市場のドル円は米金利の上昇を手掛かり材料にドル円は111.77まで上昇し、111.74レベルでNYオープン。NY朝方は米3月個人消費が予想を上回ったことが好感され、米金利とともに上昇し、高値111.90をつける。しかし、前日高値(112.03)などが短期的なレジスタンスとして意識されたほか、対ユーロでのドル売りが強まったことから、111.80近辺まで反落。その後、狭いレンジでの推移が続くが、NY終盤に米株が上げ幅を縮小し、米金利が低下する動きを受けて、安値111.64まで下落し、そのまま111.64レベルでクローズ。一方、海外時間のユーロドルは先週の報道でイタリヤ国債の格下げが回避されたことと週末のスペイン総選挙が予想範囲内の結果だったことから、ユーロの買い戻しが優勢となり、1.1167まで上昇。その後、ユーロ圏4月景況感指数が予想を下回ると小幅に反落し、1.1152レベルでNYオープン。NY朝方は米経済指標が発表されるが、ユーロドルの反応は鈍く、1.1150近辺の狭いレンジで振幅。その後、ユーロ円の上昇にサポートされ、1.1170まで上昇。NY午後は特段のヘッドラインは見当たらなかったものの、前日高値付近(1.1174)を上抜けることとユーロ買いが加速し、高値1.1187をつける。NY終盤は高値圏で小動きとなり、1.1185レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。